

第13回(令和3年度 第2回)

和泉市立総合医療センター 経営評価委員会

次 第

日時: 令和4年3月29日(火)午後2時00分～

場所: 和泉市立総合医療センター 3階講堂

1. 開 会

2. 議 題

- ①令和3年度 運営状況(4月～1月)について … (資料1)
- ②令和3年度 進行管理(PDCA)チェックシート
兼経営評価シートについて … (資料2)
- ③令和4年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書(案)
について … (資料3)

<資 料>

委員・出席者名簿

資料1 和泉市立総合医療センター運営事業
令和3年度 運営状況(4月～1月)

資料2 令和3年度 進行管理(PDCA)チェックシート兼経営評価シート
(対象期間: 令和3年4月1日～令和4年1月31日)

資料3 令和4年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書(案)

<参考資料>

参考資料1 和泉市消防本部 救急搬送件数(4月～1月)

参考資料2 診療科別 紹介患者数(4月～1月)

参考資料3 診療科別 逆紹介患者数(4月～1月)

参考資料4 診療科別単価 前年度比較(4月～1月)

委員名簿

委員長

(敬称略)

氏名	所属
高杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団 理事長 公益財団法人 大阪国際がん治療財団 理事長

委員

(敬称略・50音順)

氏名	所属
鹿島 洋一	和泉市医師会副会長 特定医療法人新仁会 新仁会病院 名誉院長
木村 佳弘	桃山学院大学 経済学部 経済学科 准教授
辻 幸代	関西医療大学 保健看護学部 学部長
露口 六彦	和泉市代表監査委員 税理士法人パートナーズ関西 代表税理士
吉岡 敏治	森ノ宮医療大学 副学長 大阪急性期・総合医療センター 名誉院長

出席者名簿

指定管理者

（敬称略・順不同）

氏 名	所 属
東上 震一	医療法人徳洲会 副理事長 岸和田徳洲会病院 総長
村上 城子	和泉市立総合医療センター 総長
松下 晴彦	和泉市立総合医療センター 病院長
山上 美恵子	和泉市立総合医療センター 副院長
川口 いずみ	和泉市立総合医療センター 看護部長
森 陽子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
岩谷 理佳子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
澤村 明子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
隈崎 聡美	和泉市立総合医療センター 医療安全室 室長
竹原 浩二	和泉市立総合医療センター 事務部長
櫛引 健一	和泉市立総合医療センター 事務長
古賀 栄司	和泉市立総合医療センター 医事課 課長
横田 泰二	和泉市立総合医療センター 総務課 課長補佐
八巻 真弓	和泉市立総合医療センター 医事課 課長補佐
大西 拓也	和泉市立総合医療センター 総務課 係長
山西 護	和泉市立総合医療センター 総務課 主任
森岡 直哉	医療法人徳洲会 大阪本部 部長
浦山 聡	岸和田徳洲会病院 事務部長

和泉市

氏 名	所 属
吉田 康人	副市長
小泉 充寛	参与
岩井 幸	子育て健康部長
藤原 一也	子育て健康部健康づくり推進室長
藤井 満	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当課長
米田 尚礼	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当総括主幹
若松 良和	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当総括主査

和泉市立総合医療センター運営事業
令和3年度
運営状況(4月～1月)

目 次

1. 令和3年度 事業計画	1
2. 医療機能に係る指標	1
1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分	
①患者数の前年度実績との比較	
②月別1日あたり患者数の推移(入院)	
③月別1日あたり患者数の推移(外来)	
④診療科別1日あたり患者数(入院)(4月～1月)	
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月～1月)	
⑥病床利用率(4月～1月)	
⑦診療単価(4月～1月)	
⑧救急患者受入数(4月～1月)	
⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～1月)	
2. その他、医療機能に係る指標	
①平均在院日数(4月～1月)	
②紹介率、逆紹介率(4月～1月)	
③手術者数(4月～1月)	
④健診(4月～1月)	
⑤医療事故等への対応(4月～1月)	
3. 職員数	8
①職員数の推移(非常勤職員含む)	
4. 患者サービス向上に係る取り組み	9
①取り組み状況	
②提案ポストへの投書件数	
5. 経営健全化に係る指標	10
①損益計算書(4月～1月)	
②貸借対照表	

1. 令和3年度 事業計画

- ・主な取り組み
 医師確保、急性期医療の拡充、がん医療を中心とした高度専門医療の拡大
 医療機器整備等により医療機能強化
- ・1日あたり患者数
 入院 292人(退院日の患者数を含む)
 外来 968人

2. 医療機能に係る指標

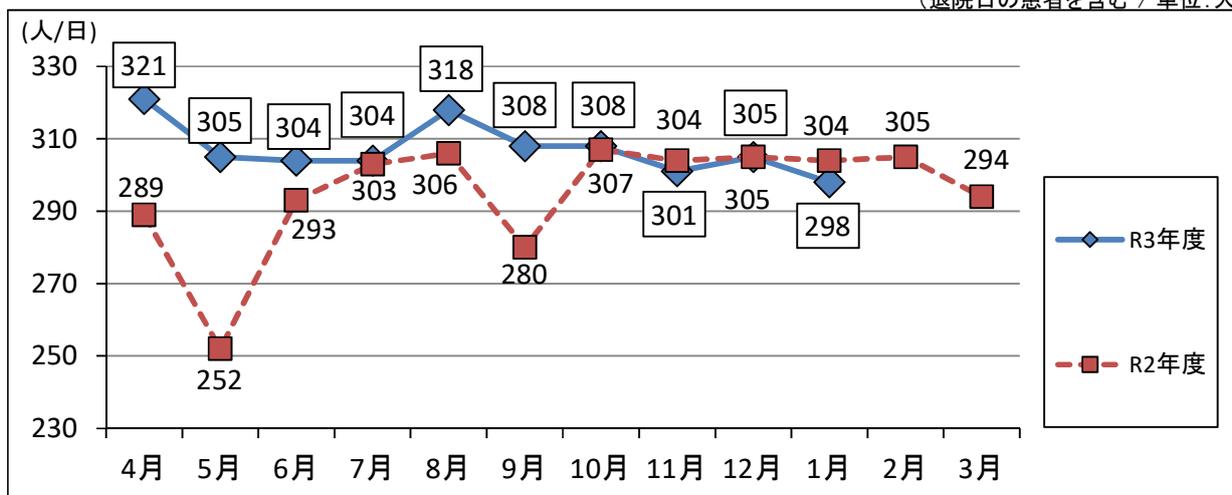
1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分

①患者数の前年度実績との比較

	実績(4月～1月分)			令和3年度 新改革プラン目標値
	令和3年度	令和2年度	比較(増減率)	
1日あたり入院患者数 (退院日の患者を含む)	307人	294人	13人 (+4.4%)	292人
1日あたり外来患者数	1,021人	925人	96人 (+10.4%)	968人

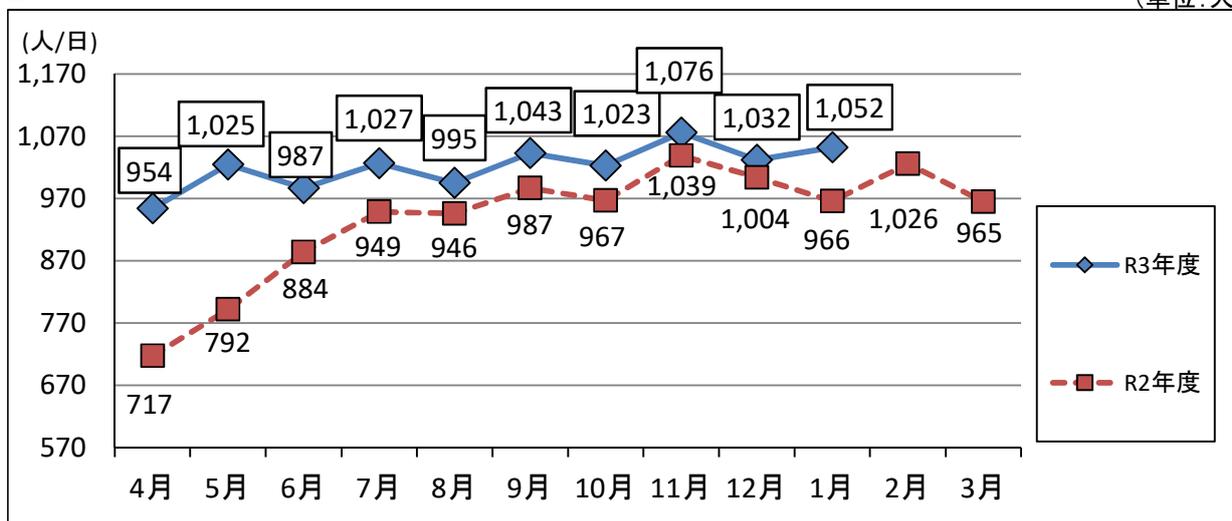
②月別1日あたり患者数の推移(入院)

(退院日の患者を含む / 単位:人)



③月別1日あたり患者数の推移(外来)

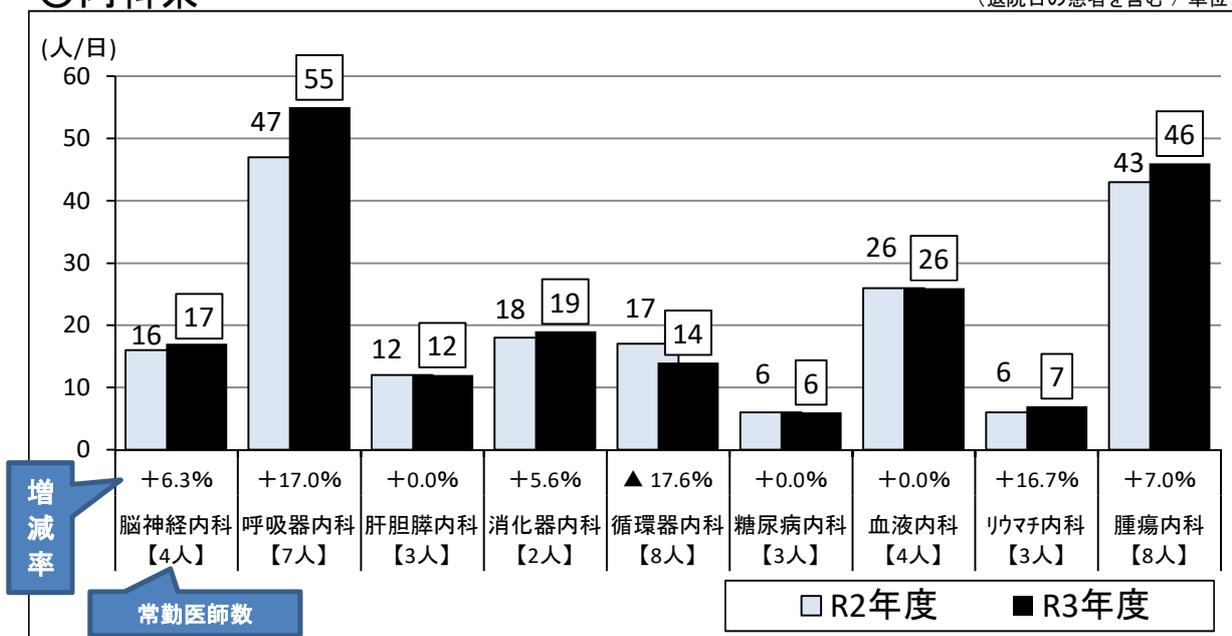
(単位:人)



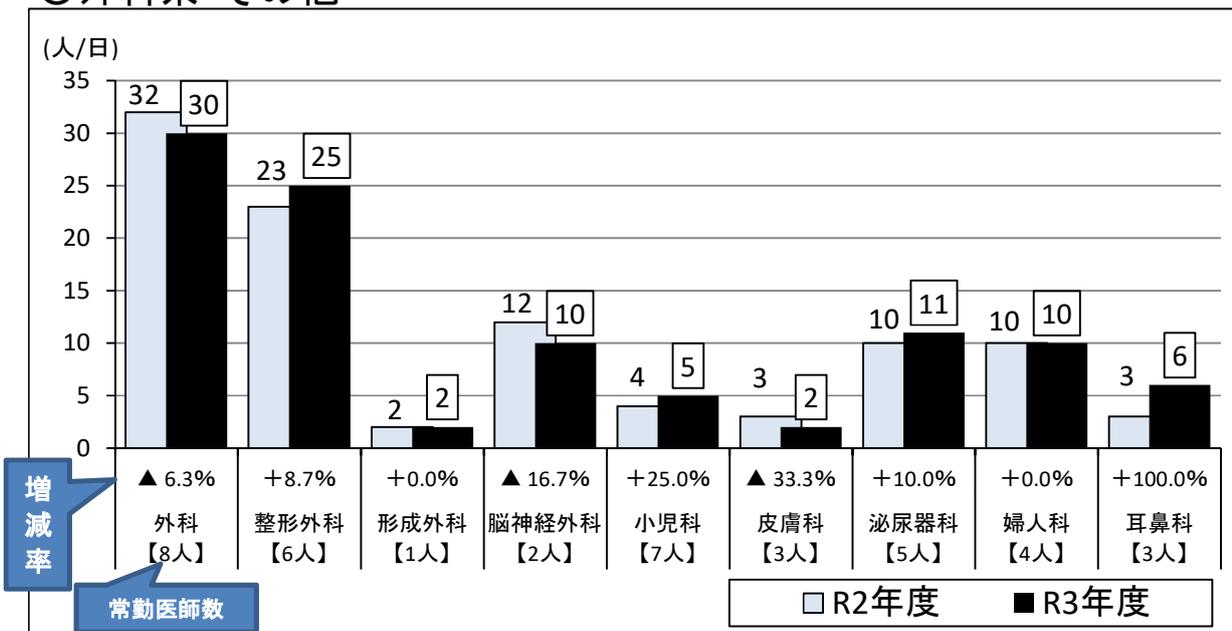
④診療科別 1日あたり患者数(入院)(4月~1月)

○内科系

(退院日の患者を含む / 単位:人)



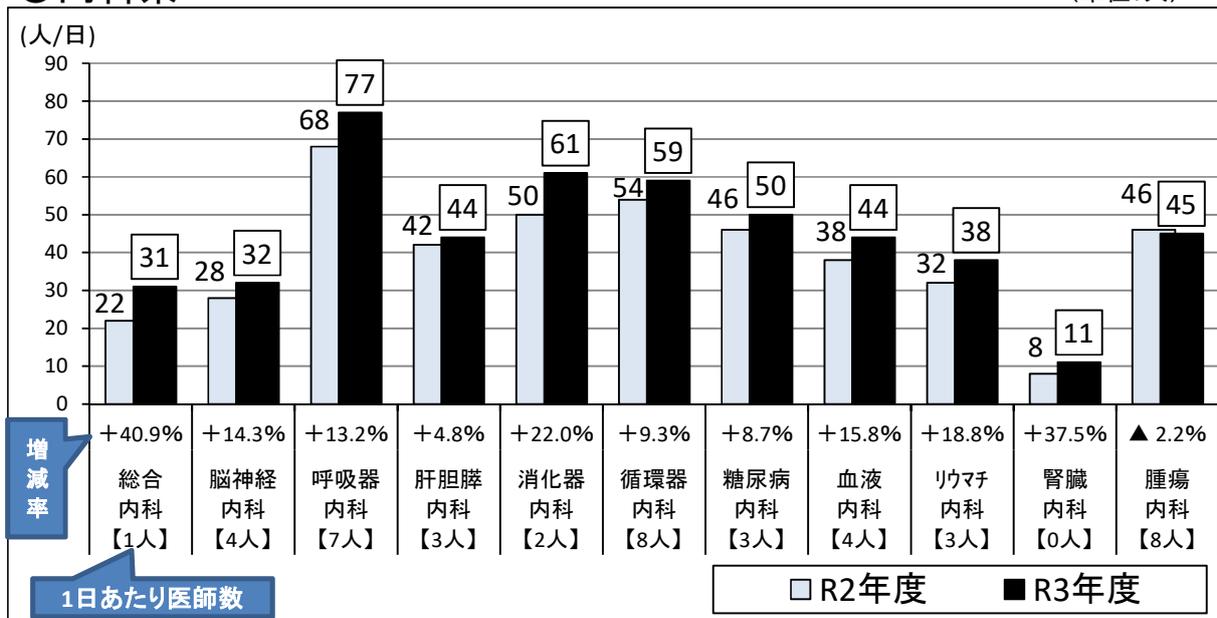
○外科系・その他



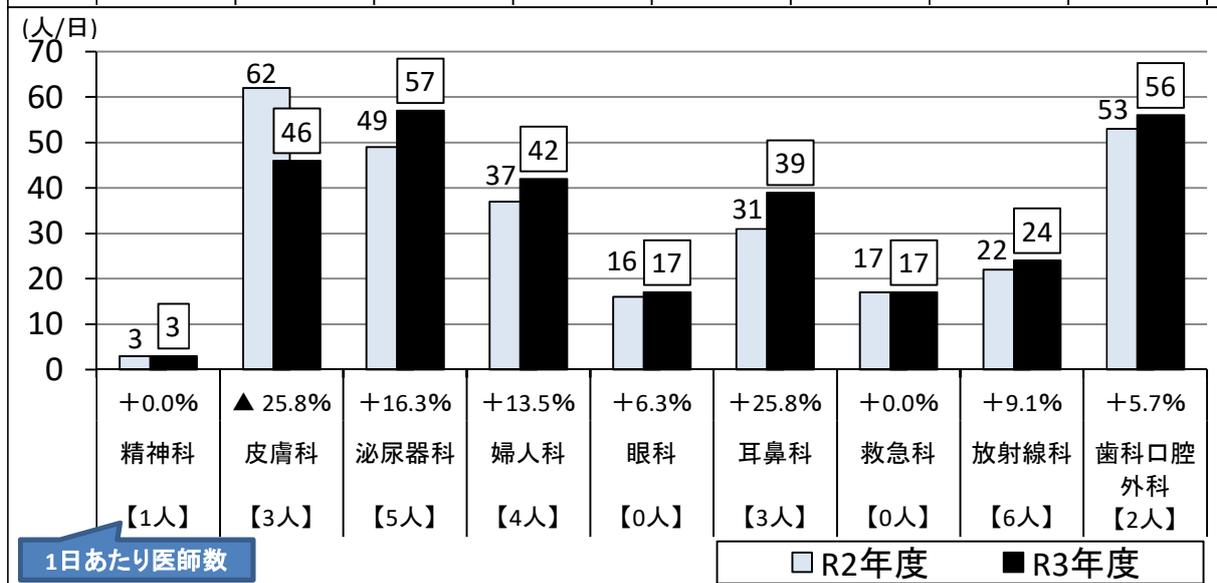
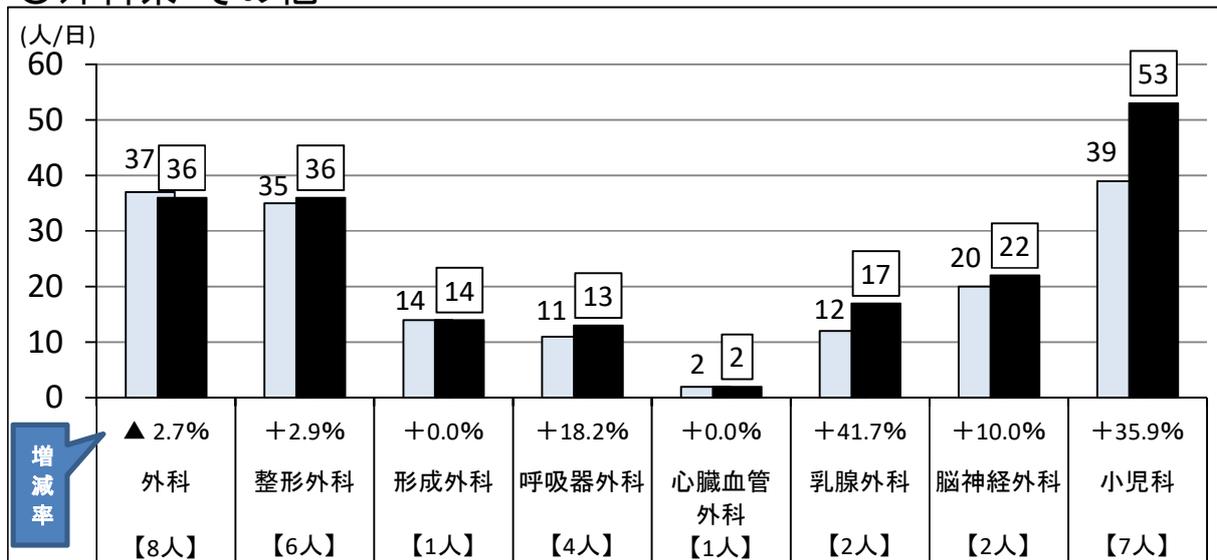
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月~1月)

○内科系

(単位:人)



○外科系・その他



※診療日が5日未満の診療科は、実診療日にて算出しています。

⑥病床稼働率(4月～1月)

(単位:人、床、日、%)

年度	稼働率	新改革プラン 目標値	延患者数 ÷ (許可病床数 × 日数) × 100
令和3年度	100.0 %	95.0 %	93,992 ÷ (307 × 306) × 100
令和2年度	95.9 %	95.0 %	90,071 ÷ (307 × 306) × 100

⑦診療単価(4月～1月)

	実績			令和3年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)
	令和3年度	令和2年度	比較(増減率)	
入院診療単価 (退院日の患者を含む)	71,917円	71,339円	578円 (+0.8%)	72,200円
外来診療単価	22,026円	21,223円	803円 (+3.8%)	21,600円

⑧救急患者受入数(4月～1月)

(単位:人、%)

診療科	実績		前年度 比較	実施状況
	令和3年度	令和2年度		
小児科	2,017	1,163	+854 (+73.4)	毎週火曜日19:00～翌6:00 第2,4,5土曜日23:00～翌6:00
内科系 外科系	8,142	7,432	+710 (+9.6)	終日実施
合計	10,159	8,595	+1,564 (+18.2)	
搬送者数	2,418	2,352	+66 (+2.8)	
搬送者の うち入院	932 (38.5%)	846 (36.0%)	86 (+10.2)	

⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～1月)

(単位:人、%)

区分	令和3年度	搬送率	令和2年度	搬送率	前年度比較 (増減率)	令和3年度 新改革プラン 目標値	搬送率
和泉市立 総合医療センター	1,498	21.8	1,486	23.8	+12 (+0.8)	2,100 (年間)	28.0 (年間)
市内民間病院	2,977	43.4	2,700	43.3	+277 (+10.3)		
市 外	2,389	34.8	2,051	32.9	+338 (+16.5)		
合計	6,864		6,237		+627 (+10.1)		

(和泉市消防本部統計より)

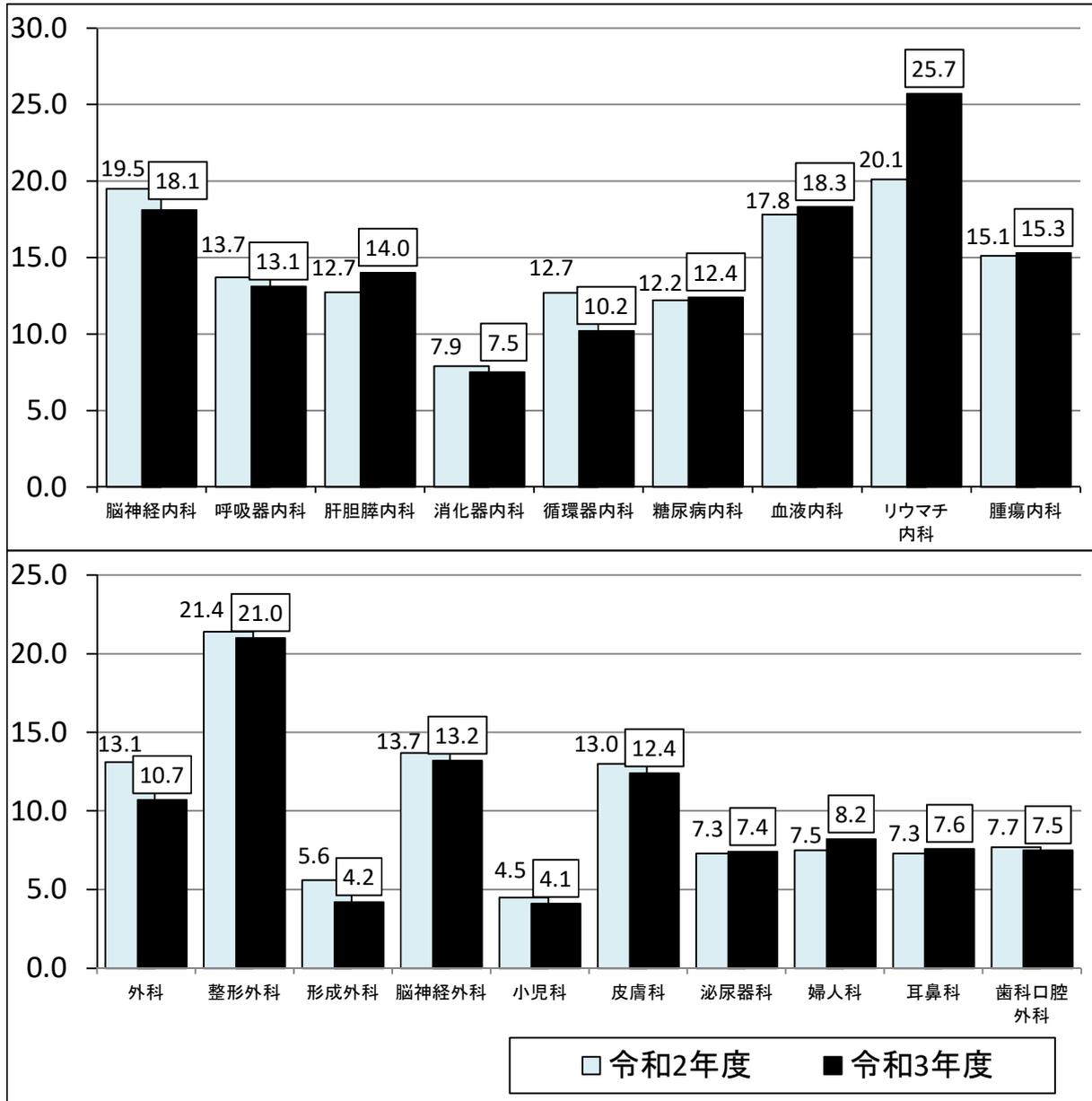
2. その他、医療機能に係る指標

① 平均在院日数(4月～1月)

(単位:日)

	令和3年度	令和2年度	増減
全診療科平均	11.9	11.8	0.1

(単位:日)



②紹介率、逆紹介率(4月～1月)

	令和3年度	令和2年度	差
紹介率	68.5 %	63.6 %	+4.9%
逆紹介率	85.5 %	82.4 %	+3.1%

※今回から地域医療支援病院の承認時における紹介率、逆紹介率の算定方法に変更

③手術件数(4月～1月)

(単位:人、%)

指 標	令和3年度	令和2年度	差	増減率(%)	
	うち全麻	うち全麻	うち全麻	うち全麻	
手術数	外科	741 559	682 492	+59 +67	+8.7 13.6
	整形外科	334 323	315 302	+19 +21	+6.0 7.0
	婦人科	207 161	190 157	+17 +4	+8.9 2.5
	皮膚科	57 2	86 3	▲29 ▲1	▲33.7 ▲33.3
	形成外科	222 59	254 66	▲32 ▲7	▲12.6 ▲10.6
	泌尿器科	322 76	299 59	+23 +17	+7.7 28.8
	脳神経外科	142 34	108 83	+34 ▲49	+31.5 ▲59.0
	耳鼻いんこう科	246 128	62 57	+184 +71	+296.8 124.6
	歯科口腔外科	75 75	63 63	+12 +12	+19.0 19.0
	計	2,346 1,417	2,059 1,282	+287 +135	+13.9 10.5

④健診(4月～1月)

(単位:人、%)

指 標	令和3年度	令和2年度	差	増減率
人間ドック	1,402	1,179	223	+18.9%
特定健診	1,007	916	91	+9.9%

⑤医療事故等への対応(4月～1月)

○レベル別件数

(単位:件)

	レベル	職種	令和3年度	令和2年度	事例(本年度)
インシデント	0～3a	医師	110	119	・転倒・転落後様子観察 ・点滴流量間違い ・内服薬服薬間違い ・誤配膳 ・点滴ルート自己抜去 ・胃管カテーテル自己抜去
		看護師	1,530	1,466	
		薬剤師	59	59	
		放射線技師	52	86	
		臨床検査技師	24	24	
		リハビリ	30	31	
		その他	162	157	
		計	1,967	1,942	
アクシデント (医療事故)	3b	医師	15	15	<重複事例報告あり> ・転倒・転落・体位変換などによる骨折など 7件 ・処置・手術関連合併症 11件 ・治療・経過観察中の状態変化 11件 ・患者行動による治療・処置 2件 ・診断・治療に関するもの 3件
		看護師	17	17	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	1	0	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	1	1	
		その他	0	0	
	計	34	33		
	4a～5	医師	1	0	・左大腿骨頸部骨折様子観察中、腓骨神経麻痺発症 1件 ・頸椎骨折患者がベッドより転落、四肢麻痺出現 1件
		看護師	3	0	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	0	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	0	0	
		その他	0	0	
	計	4	0		
	計 (3b～5)	医師	16	15	
看護師		20	17		
薬剤師		0	0		
放射線技師		1	0		
臨床検査技師		0	0		
リハビリ		1	1		
その他		0	0		
計	38	33			

※その他内訳:
栄養科、ME

○種類別件数(4月～1月)

(単位:件)

概要	令和3年度	令和2年度	増減
薬剤	537	645	▲ 108
輸血	15	19	▲ 4
治療・処置	84	85	▲ 1
医療機器等	62	78	▲ 16
ドレーン・チューブ	186	168	18
検査	240	233	7
療養上の世話	377	349	28
その他	504	398	106
合計	2,005	1,975	30

(参考) 医療事故レベル

インシデント	0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
	1	患者への実害はなかった(何らかの影響は与えた可能性は否定できない)
	2	処置や治療行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性が生じた)
	3a	単純な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
アクシデント	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	4a	永続的な障害が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない
	4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

3. 職員数

①職員数の推移(非常勤職員含む)

■職員数の推移

(単位:人)

	R4.1	R3.4	R2.4	H31.4	H30.4	H29.4
医師	128.09	136.77	125.64	110.45	86.10	60.79
常勤	117	120	111	97	82	54
非常勤 (常勤換算)	125 (11.09)	129 (16.77)	127 (14.64)	113 (13.45)	25 (4.10)	70 (6.79)
看護部	330.68	348.36	377.86	310.93	273.30	209.94
常勤	316	331	359	292	247	189
非常勤 (常勤換算)	20 (14.68)	20 (17.36)	32 (18.86)	26 (18.93)	30 (26.30)	26 (20.94)
医療技術職	133.66	140.59	125.25	116.10	81.41	66.32
常勤	128	132	120	113	78	62
非常勤 (常勤換算)	8 (5.66)	12 (8.59)	8 (5.25)	6 (3.10)	6 (3.41)	7 (4.32)
合計	592.43	625.72	628.75	537.48	440.81	337.05
常勤	561	583	590	502	407	305
非常勤 (常勤換算)	153 (31.43)	161 (42.72)	167 (38.75)	145 (35.48)	61 (33.81)	103 (32.05)

※ 看護部は看護師免許取得者のみ。

※ 常勤換算人員は $\frac{\text{勤務時間}}{7.5 \text{ 時間}} \div \left(\frac{\text{1日の勤務時間(常勤)}}{21.67 \text{ 日}} \times \text{月間勤務日数(常勤)} \right)$

■常勤医師の状況

(単位:人)

	R4.1	R3.4	R2.4	H31.4	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4	H26.4
内科	1	1	1		1				
循環器内科	8	8	7	4	5	5	4	4	5
呼吸器内科	7	7	8	7	5	5	6	5	4
消化器内科(内視鏡)	2	2	3	4	5	2			
肝胆膵内科	3	3	3	3	3	3	4	4	4
血液内科	4	4	4	4	3				
内分泌・糖尿病内科	3	4	4	4	2				
脳神経内科	4	4	3	2	3				
腫瘍内科	8	8	8	8	5	7	4	4	5
緩和ケア内科	1	1	1	1	1				
外科	15	15	13	11	9	4	5	5	6
消化器外科	8	8	8	6	4				
心臓血管外科	1	1	1	1	1				
乳腺外科	2	2	1	1	2				
呼吸器外科	4	4	3	3	2				
形成外科	1	1	1	1	1				
整形外科	6	6	6	6	6	6	6	5	4
小児科	7	7	6	6	6	6	5	5	6
脳神経外科	2	2	2	3	2	0	1	1	1
泌尿器科	5	5	5	4	3	1			
皮膚科	3	3	3	3	2	2	2	2	1
婦人科	4	4	5	4	4	4	4	4	4
耳鼻いんこう科	3	3	2	1	2				
リウマチ内科	3	3	3	3	2				
放射線科	6	6	6	6	5	4	4	5	5
麻酔科	3	5	4	4	2	2	2	2	
病理診断科	3	3	2	1	1	1	1	1	
歯科口腔外科	2	2	2	2					
研修医他	13	13	9	5	4	2			
合計	117	120	111	97	82	54	48	47	45

4. 患者サービス向上に係る取り組み

① 取り組み状況

サービス	時期	主な内容
和泉市在宅医療・介護連携コーディネート事業 【継続】	4月～	地域の医療(介護)機関が連携することにより、包括的かつ継続的な在宅医療(介護)を提供できるよう地域の専門職の相談窓口となった。
出前講座・医療講演 【継続】	4月～	新型コロナウイルス感染症の拡大により一時期開催を中止していたが、オンライン上での開催を再開し、感染対策を講じながら健康づくりのための知識・情報を市民に提供できるよう取り組んだ。
第2回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム 【継続】	7月	令和3年7月22日(祝)「和泉市におけるコロナワクチン接種」をテーマに和泉市内の医療・介護関係者、行政関係者、市民代表を交え講演会並びに意見交換会を開催。ワクチン接種を希望する市民への迅速な対応について意見交換を行った。
災害時医療訓練 【継続】	11月	令和3年11月3日(祝)、医療センター職員にて連携体制の確認を行うなど、新型コロナウイルス感染症が流行している中で行うことができる訓練を行った。
地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院指定報告会 【新規】	11月	地域がん診療連携拠点病院指定に伴い、がんへの取り組みを状況の報告を行ったほか、がん医療の進歩について、特別講演を行った。

② 提案ポストへの投書件数

(単位:件)

区分	令和3年度	令和2年度	主な内容例
総件数	126	106	
お礼	7	17	<ul style="list-style-type: none"> ■待ち時間に膝掛けの声掛けをしてくれた。 ■食事がとても美味しくなった。 ■救急外来は忙しいのにも関わらず丁寧親切迅速に対応してくれた。
苦情・要望等	119	89	
設備	50	37	<ul style="list-style-type: none"> ■身体重計・血圧計測定の際、プライバシーを確保してほしい。 ⇒液晶画面にプライバシー保護シートを設置。 ■エスカレーターの速度を遅くしてほしい。 ⇒注意喚起の啓発を行うとともに、速度調整も今後行う予定。 ■病室エアコン吹き出し口がカビで黒くなっている。 ⇒2か月に1度清掃を実施。汚れの指摘があった際は、すぐに清掃を行うことができる体制を構築。 ■受付看板の番号が小さいので大きくしてほしい。 ⇒増設・新設等を実施し改善した。
接遇	34	21	<ul style="list-style-type: none"> ■入院時に具体的な説明がなかったため、規則やマナーについてきちんと説明すべき。 ⇒説明不足がないよう説明ポイントを整理し、状況に応じて説明用紙を作成した。 ■食の配膳後、配膳回収まで時間が短い。ゆっくり食事ができない。 ⇒適温適時を順守しながら配慮する。
その他	35	31	<ul style="list-style-type: none"> ■食事内容・摂取カロリーを表記してほしい。 ⇒一部の食事によっては表記できないものもあるため、管理栄養士が説明を行うようにした。 ■病室で電話をする人がいるので、入院時に説明及び注意をしてほしい。 ⇒入院時にきっちりと説明を行うように努める。

5. 経営健全化に係る指標

①損益計算書(4月～1月)

(単位:千円)

科 目	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	前年度比 (a)-(b)	増減率 %
医業収益 (A)	11,758,035	10,629,036	1,128,999	10.6
入院収益	6,759,612	6,425,616	333,996	5.2
外来収益	4,585,650	4,006,114	579,536	14.5
その他医業収益	412,773	197,306	215,467	109.2
うち室料差額収益	121,799	117,907	3,892	3.3
うち文書料・その他	387,033	174,517	212,516	121.8
うち保険等査定減	▲ 96,059	▲ 95,118	▲ 941	1.0
医業費用 (B)	10,064,327	9,231,185	833,142	9.0
給与費	5,094,047	4,553,158	540,889	11.9
材料費	3,762,506	3,510,605	251,901	7.2
委託費	525,677	470,256	55,421	11.8
経費	328,650	365,251	▲ 36,601	▲ 10.0
設備関係費	343,920	323,567	20,353	6.3
研究研修費	9,527	8,348	1,179	14.1
医業損益 (A)-(B)	1,693,708	1,397,851	295,857	21.2
医業外収益 (C)	762,723	968,700	▲ 205,977	▲ 21.3
うち運営費補助金収益	717,721	915,947	▲ 198,226	▲ 21.6
うちその他医業外収益	45,002	52,753	▲ 7,751	▲ 14.7
医業外費用 (D)	316,614	276,329	40,285	14.6
経常損益 ((A)+(C))-((B)+(D))	2,139,817	2,090,222	49,595	2.4
臨時収益 (E)	0	0	0	-
臨時費用 (F)	10,507	0	10,507	-
税引前利益 ((A)+(C)+(E))-((B)+(D)+(F))	2,129,310	2,090,222	39,088	1.9
医業収支比率 (A)÷(B)×100	116.8	115.1	1.7	
経常収支比率 ((A)+(C))÷((B)+(D))×100	120.6	122.0	▲ 1.4	
給与費率 (給与費)÷(A)×100	43.3	42.8	0.5	
材料費率 (材料費)÷(A)×100	32.0	33.0	▲ 1.0	
経常収支比率 新改革プラン目標値(R3)	108.8			

(うち医業費用明細) (4月～1月)

(単位:千円、%)

科 目	令和3年度		令和2年度		前年度比 (a)-(b)	増減率 %
	(a)	構成比 (%)	(b)	構成比 (%)		
医業費用	10,064,327	100.00	9,231,185	100.00	833,142	9.0
給与費	5,094,047	50.61	4,553,158	49.32	540,889	11.9
うち常勤職員給与	3,132,875	31.13	2,836,306	30.73	296,569	10.5
うち非常勤職員給与	667,353	6.63	641,541	6.95	25,812	4.0
うち法定福利費	544,405	5.41	482,704	5.23	61,701	12.8
うち賞与	775,598	7.71	598,071	6.48	177,527	29.7
材料費	3,762,506	37.38	3,510,605	38.03	251,901	7.2
うち医薬品費	2,605,606	25.89	2,426,736	26.29	178,870	7.4
うち医療消耗品費	717,366	7.13	689,833	7.47	27,533	4.0
うち検査材料費	237,605	2.36	226,221	2.45	11,384	5.0
委託費	525,677	5.22	470,256	5.09	55,421	11.8
うち検査委託費	87,325	0.87	66,026	0.72	21,299	32.3
うち給食委託費	56,593	0.56	55,874	0.61	719	1.3
うち医事委託費	7,992	0.08	7,877	0.09	115	1.5
うち清掃委託費	55,988	0.56	54,872	0.59	1,116	2.0
うち警備委託費	22,500	0.22	24,600	0.27	▲ 2,100	▲ 8.5
うち労務委託費	31,723	0.32	32,857	0.36	▲ 1,134	▲ 3.5
うち事務委託費	65,373	0.65	57,207	0.62	8,166	14.3
経費	328,650	3.27	365,251	3.96	▲ 36,601	▲ 10.0
うち消耗品費	14,380	0.14	14,554	0.16	▲ 174	▲ 1.2
うち事務用品費	15,919	0.16	13,539	0.15	2,380	17.6
うち光熱水道費	87,027	0.86	79,271	0.86	7,756	9.8
うち広告宣伝費	8,950	0.09	7,246	0.08	1,704	23.5
うち募集費	5,226	0.05	9,782	0.11	▲ 4,556	▲ 46.6
うち保険料	31,855	0.32	42,017	0.46	▲ 10,162	▲ 24.2
うち寄付金	52,708	0.52	69,333	0.75	▲ 16,625	▲ 24.0
うち支払手数料	38,769	0.39	61,184	0.66	▲ 22,415	▲ 36.6
設備関係費	343,920	3.42	323,567	3.51	20,353	6.3
うち医療機器等リース・レンタル料	112,853	1.12	117,966	1.28	▲ 5,113	▲ 4.3
うち減価償却費	61,356	0.61	40,675	0.44	20,681	50.8
うち修繕費	29,658	0.29	41,695	0.45	▲ 12,037	▲ 28.9
うち機器保守料	97,324	0.97	80,923	0.88	16,401	20.3
研究研修費	9,527	0.09	8,348	0.09	1,179	14.1

②貸借対照表

(単位:千円)

科 目	R4.1.31現在(A)	R3.1.31現在(B)	増減(A)-(B)
【流動資産】	【 8,147,904 】	【 5,678,589 】	【 2,469,315 】
現金預金	8,576	11,753	△ 3,177
医業未収入金	2,388,556	2,382,988	5,568
未収金	221,466	180,843	40,623
薬品	76,795	76,899	△ 104
診療材料	24,097	1,588	22,509
その他貯蔵品	1,643	1,568	75
前払費用	54,457	59,892	△ 5,435
仮払消費税	530,212	489,547	40,665
貸倒引当金	△ 13,783	△ 13,954	171
大阪本部勘定	4,847,620	2,478,417	2,369,203
仮払金	6,305	6,061	244
その他流動資産	1,960	2,987	△ 1,027
【固定資産】	【 284,331 】	【 234,556 】	【 49,775 】
(有形固定資産)	(258,138)	(207,313)	(50,825)
建物	104,240	82,923	21,317
構築物	3,075	1,705	1,370
医療機器	137,729	112,591	25,138
その他器械備品	13,094	10,094	3,000
(無形固定資産)	(17,774)	(13,573)	(4,201)
他無形固定資産	17,774	13,573	4,201
(投資他資産)	(8,419)	(13,670)	(△ 5,251)
長期貸付金	6,719	11,986	△ 5,267
その他	1,700	1,684	16
【繰延資産】	【 9,808 】	【 7,049 】	【 2,759 】
繰延消費税	9,808	7,049	2,759
資 産 合 計	8,442,043	5,920,194	2,521,849
【流動負債】	【 2,237,224 】	【 1,984,014 】	【 253,210 】
買掛金	1,257,924	1,145,490	112,434
短期借入金	0	239,500	△ 239,500
未払費用	10,905	49,222	△ 38,317
未払給与	122,791	118,293	4,498
未払金	214,689	175,031	39,658
預り金	49,938	46,557	3,381
前受収益	77	110	△ 33
仮受金	460,675	105,219	355,456
仮受消費税	54,723	33,413	21,310
賞与引当金	65,502	71,179	△ 5,677
【固定負債】	【 296,196 】	【 384,805 】	【 △ 88,609 】
退職給付引当金	296,096	384,705	△ 88,609
その他固定負債	100	100	0
負債の部計	2,533,420	2,368,819	164,601
【積立金】	【 5,908,623 】	【 3,551,375 】	【 2,357,248 】
繰越利益積立金	5,908,623	3,551,375	2,357,248
(うち当期純利益)	(2,129,310)	(2,090,222)	(39,088)
純資産の部計	5,908,623	3,551,375	2,357,248
負債純資産合計	8,442,043	5,920,194	2,521,849

令和3年度 進行管理(PDCA)チェックシート
兼経営評価シート

(対象期間:令和3年4月1日～令和4年1月31日)

評価対象	NO	評価項目	第13回 R3 4-1月	
			自己評価	市の評価
運営 (基本的事項)	1	施設利用者数の状況について	10	10
	2	収支計画の達成状況について	10	10
医療サービス	3	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成について	9	9
	4	救急医療体制の整備について	7	7
	5	地域医療機関との連携強化について	8	8
	6	高度・専門医療について	8	8
施設利用 サービス	7	待ち時間について	7	7
	8	職員の接遇について	7	7
危機管理	9	災害時医療の体制整備について	8	8
利用者の評価	10	提案ポストや患者アンケート等の意見の対応について	8	8
合計点数			82	82

評点の考え方	点数
優れている	9~10点
できている	7~8点
概ねできている	4~6点
やや劣っている	1~3点
劣っている	0点

評価項目	1	施設利用者数の状況について																		
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会															
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	10	10																
	旧基準による評価点																			
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4															
P(プラン) 令和3年度 事業計画	令和3年度(4~3月) ・1日あたり入院患者数 292人(退院患者含む) (病床稼働率 95.0%) ・1日あたり外来患者数 968人																			
D(実施状況)	<診療実績> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績 (4-1月)</th> <th>R3計画 (4-3月)</th> <th>R2 (4-1月)</th> <th>R1 (4-1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)</td> <td>307人 (100.0%)</td> <td>292人 (95.0%)</td> <td>294人 (95.9%)</td> <td>310人 (100.8%)</td> </tr> <tr> <td>②1日あたり外来患者数</td> <td>1,021人</td> <td>968人</td> <td>925人</td> <td>972人</td> </tr> </tbody> </table>						R3実績 (4-1月)	R3計画 (4-3月)	R2 (4-1月)	R1 (4-1月)	①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	307人 (100.0%)	292人 (95.0%)	294人 (95.9%)	310人 (100.8%)	②1日あたり外来患者数	1,021人	968人	925人	972人
	R3実績 (4-1月)	R3計画 (4-3月)	R2 (4-1月)	R1 (4-1月)																
①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	307人 (100.0%)	292人 (95.0%)	294人 (95.9%)	310人 (100.8%)																
②1日あたり外来患者数	1,021人	968人	925人	972人																
C(自己評価の理由)	100%に近い病床稼働率となっている。外来についても、1日平均1,021人と順調な推移である。																			
A(今後の取り組み)	病棟は満床の状態が続いているため、平均在院日数の短縮を目指し、より多くの患者様に当センターを利用いただけるよう体制を整備する。																			
市のコメント	入院・外来患者数ともに非常に好調である。救急医療の常勤対応など、さらなる体制整備に努められたい。																			

評価項目	2	収支計画の達成状況について																																	
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																														
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	10	10																															
	旧基準による評価点																																		
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4																														
P(プラン) 令和3年度 事業計画	令和3年度 収支計画(4-3月) 経常収支比率108.8%																																		
D(実施状況)	<p><実績> 前年度と比較し、入院・外来患者数、診療単価ともに増加したことから、経常収支比率は120.6%となり、計画値より上回った。</p> <p>・診療実績(4月～1月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R3計画(4-3月)</th> <th>R2</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率</td> <td>120.6%</td> <td>108.8%</td> <td>122.0%</td> <td>114.9%</td> </tr> <tr> <td>②入院診療単価</td> <td>71,917円</td> <td>72,200円</td> <td>71,339円</td> <td>61,014円</td> </tr> <tr> <td>③外来診療単価</td> <td>22,026円</td> <td>21,600円</td> <td>21,223円</td> <td>18,853円</td> </tr> <tr> <td>④給与費比率</td> <td>43.3%</td> <td>48.2%</td> <td>42.8%</td> <td>42.6%</td> </tr> <tr> <td>⑤材料費比率</td> <td>32.0%</td> <td>35.1%</td> <td>33.0%</td> <td>33.0%</td> </tr> </tbody> </table>						R3	R3計画(4-3月)	R2	R1	①経常収支比率	120.6%	108.8%	122.0%	114.9%	②入院診療単価	71,917円	72,200円	71,339円	61,014円	③外来診療単価	22,026円	21,600円	21,223円	18,853円	④給与費比率	43.3%	48.2%	42.8%	42.6%	⑤材料費比率	32.0%	35.1%	33.0%	33.0%
	R3	R3計画(4-3月)	R2	R1																															
①経常収支比率	120.6%	108.8%	122.0%	114.9%																															
②入院診療単価	71,917円	72,200円	71,339円	61,014円																															
③外来診療単価	22,026円	21,600円	21,223円	18,853円																															
④給与費比率	43.3%	48.2%	42.8%	42.6%																															
⑤材料費比率	32.0%	35.1%	33.0%	33.0%																															
C(自己評価の理由)	入院患者・外来患者の増による医業収益の増等から、前年度同様、健全経営を実施できている。																																		
A(今後の取り組み)	救急受入れの強化や、在院日数の短縮により、さらなる効率化を目指したい。																																		
市のコメント	入院・外来の利用状況に比例して、良好な収支状況である。引き続き、安定的な経営基盤の確立に努められたい。																																		

評価項目	3	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成について																															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																												
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	9	9																													
	旧基準による評価点																																
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4																												
P(プラン) 令和3年度 事業計画	基本的な医療機能 ①診療機能の向上 ・令和3年4月から常勤医師を120名に増員(前年度比9名増員)																																
D(実施状況)	<職員数の状況 常勤換算> (単位:人) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3.4</th> <th>R2.4</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医師</td> <td>136.77</td> <td>125.64</td> <td>11.13</td> </tr> <tr> <td>②看護部</td> <td>348.36</td> <td>377.86</td> <td>▲ 29.50</td> </tr> <tr> <td>③医療技術</td> <td>140.59</td> <td>125.25</td> <td>15.34</td> </tr> </tbody> </table> <研修の状況> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R3研修内容</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全研修 ・ 院内感染対策研修 ・ 個人情報研修 </td> </tr> </tbody> </table>						R3.4	R2.4	増減	①医師	136.77	125.64	11.13	②看護部	348.36	377.86	▲ 29.50	③医療技術	140.59	125.25	15.34		R3	R2	増減	回数	7	6	1	R3研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全研修 ・ 院内感染対策研修 ・ 個人情報研修 		
	R3.4	R2.4	増減																														
①医師	136.77	125.64	11.13																														
②看護部	348.36	377.86	▲ 29.50																														
③医療技術	140.59	125.25	15.34																														
	R3	R2	増減																														
回数	7	6	1																														
R3研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全研修 ・ 院内感染対策研修 ・ 個人情報研修 																																
C(自己評価の理由)	前年度に引き続き、医師を始めとするスタッフの増員を図ることができた。																																
A(今後の取り組み)	現在、非常勤医の対応となっている診療科の常勤化を図っていく。特に令和4年度から、常勤の救急専門医の確保ができることから、体制の強化に努めたい。																																
市のコメント	医師の増員、継続的な研修による人材育成を行い評価できる。常勤の救急専門医を確保でき、体制強化、スタッフの育成ができる環境になることに期待している。																																

評価項目	4	救急医療体制の整備について																																								
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																																					
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	7	7																																						
	旧基準による評価点																																									
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4																																					
P(プラン) 令和3年度 事業計画	①政策的医療 ②救急医療 ・市内の他の救急告示病院と協力しながら、市外搬送件数の減少をめざす。																																									
D(実施状況)	<p><救急医療実施日></p> <ul style="list-style-type: none"> ○内科系・外科系 H30.4より実施(終日) ○小児科 泉州医療圏内で輪番制で実施 実施日:毎週火曜日、第2、4、5土曜日 <p><救急医療(各年度4-1月)> (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療</td> <td>10,159</td> <td>8,595</td> <td>12,778</td> </tr> <tr> <td>うち救急搬送</td> <td>2,418</td> <td>2,352</td> <td>3,052</td> </tr> </tbody> </table> <p><市消防本部 救急搬送> 搬送率目標28.0% (単位:人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>搬送率</th> <th>R2</th> <th>搬送率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合医療センター</td> <td>1,498</td> <td>21.8%</td> <td>1,486</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>市内民間病院</td> <td>2,977</td> <td>43.4%</td> <td>2,700</td> <td>43.3%</td> </tr> <tr> <td>市外医療機関</td> <td>2,389</td> <td>34.8%</td> <td>2,051</td> <td>32.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,864</td> <td></td> <td>6,237</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						R3	R2	R1	救急医療	10,159	8,595	12,778	うち救急搬送	2,418	2,352	3,052		R3	搬送率	R2	搬送率	総合医療センター	1,498	21.8%	1,486	23.8%	市内民間病院	2,977	43.4%	2,700	43.3%	市外医療機関	2,389	34.8%	2,051	32.9%	合計	6,864		6,237	
	R3	R2	R1																																							
救急医療	10,159	8,595	12,778																																							
うち救急搬送	2,418	2,352	3,052																																							
	R3	搬送率	R2	搬送率																																						
総合医療センター	1,498	21.8%	1,486	23.8%																																						
市内民間病院	2,977	43.4%	2,700	43.3%																																						
市外医療機関	2,389	34.8%	2,051	32.9%																																						
合計	6,864		6,237																																							
C(自己評価の理由)	昨年度よりも救急件数は増加しているが、市外搬送件数も多い状況であり、当センターの受入件数をさらに増やす必要がある。																																									
A(今後の取り組み)	令和4年度から常勤の救急専門医が確保できることから、更なる救急体制の充実を目指す。																																									
市のコメント	病床稼働率が高い反面、緊急入院の受入余地が少ない状況は理解できるが、市外搬送率が減少していない状況を改善するため、今後も救急受入件数を拡大し、市外搬送の減少に取り組まれない。																																									

評価項目	5	地域医療機関との連携強化について												
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会									
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	8	8										
	旧基準による評価点													
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4									
P(プラン) 令和3年度 事業計画	基本的な医療機能 ①地域医療機関との連携 ・紹介患者の受け入れ、逆紹介に努め地域医療の向上に貢献します。													
D(実施状況)	※令和3年度大阪府へ地域医療支援病院の承認申請を行う。 <取り組み> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため感染対策を行い、地域の医療機関との連携会を開催した。 「和泉の地域医療を考えるシンポジウム」も開催した。 ・地域の医療機関への情報提供を継続実施。 ○活動実績 連携会件数 1回 シンポジウム実施回数 1件 地域医療機関向研修件数 10回 地域医療機関従事者研修参加人数 189人 <紹介率・逆紹介率> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>68.5%</td> <td>63.6%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>85.5%</td> <td>82.4%</td> </tr> </tbody> </table> ※地域医療支援病院の承認時における算定方法						R3	R2	紹介率	68.5%	63.6%	逆紹介率	85.5%	82.4%
	R3	R2												
紹介率	68.5%	63.6%												
逆紹介率	85.5%	82.4%												
C(自己評価の理由)	継続的に地域医療機関との連携を進め、紹介率・逆紹介率のいずれも向上している。													
A(今後の取り組み)	地域医療機関への訪問や、意見交換会の開催など、病診連携を強化し、紹介率、逆紹介率の向上を目指す。													
市のコメント	令和4年3月に地域医療支援病院に指定され、その取り組みは高く評価する。今後は市内医療機関等とのより一層の病診連携の強化に努められたい。													

評価項目	6	高度・専門医療について																							
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																				
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	8	8																					
	旧基準による評価点																								
	令和2年度(総括)																								
P(プラン) 令和3年度 事業計画	急性期病院としての機能強化と充実 ①手術件数 ②地域がん診療連携拠点病院																								
D(実施状況)	<p><高度・専門医療(各年度4-1月)> (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術数</td> <td>2,346</td> <td>2,059</td> <td>2,193</td> </tr> <tr> <td>(うちダヴィンチ)</td> <td>(75)</td> <td>(19)</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>6,729</td> <td>5,720</td> <td>5,164</td> </tr> <tr> <td>化学療法実施件数</td> <td>4,650</td> <td>4,535</td> <td>4,089</td> </tr> </tbody> </table>						R3	R2	R1	手術数	2,346	2,059	2,193	(うちダヴィンチ)	(75)	(19)	(-)	放射線治療件数	6,729	5,720	5,164	化学療法実施件数	4,650	4,535	4,089
	R3	R2	R1																						
手術数	2,346	2,059	2,193																						
(うちダヴィンチ)	(75)	(19)	(-)																						
放射線治療件数	6,729	5,720	5,164																						
化学療法実施件数	4,650	4,535	4,089																						
C(自己評価の理由)	放射線治療件数、化学療法実施件数は治療圏でも有数の件数である。手術件数については全体としては高水準だが、一部の臓器治療については、さらに件数を高めたい。																								
A(今後の取り組み)	令和4年3月に地域医療支援病院の承認を受け、地域の医療機関と更に連携を強化することで、手術症例の紹介を受けるよう努める。																								
市のコメント	地域がん診療連携拠点病院として、着実にがん治療、がんゲノム研究に取り組み、高度専門医療にも対応している。今後も市民が安心して高度な医療が受けられることができるよう、市の中核病院としての役割を果たすよう努められたい。																								

評価項目	7	待ち時間について											
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会								
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	7	7									
	旧基準による評価点												
	令和2年度(総括)	R3.7.21	3/4	3/4	3/4								
P(プラン) 令和3年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。												
D(実施状況)	<p>患者アンケートの結果、患者増による待ち時間の増加がみられる。提案ポストでは、診察・検査・会計での待ち時間に対する苦情が寄せられた。</p> <p><待ち時間苦情件数(各年度4-1月)> (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待ち時間苦情件数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>▲ 4</td> </tr> </tbody> </table>						R3	R2	増減	待ち時間苦情件数	6	10	▲ 4
	R3	R2	増減										
待ち時間苦情件数	6	10	▲ 4										
C(自己評価の理由)	限られた環境での診療であり、曜日によっては待ち時間が多く発生している。												
A(今後の取り組み)	少しでもストレスなくお待ちいただける環境を構築し、提案ポストの内容や待ち時間分析を強化していきたい。												
市のコメント	スタッフの日々の努力により以前に比べ、苦情件数は大幅に減少している。これからも待ち時間の解消について、患者から寄せられた個別の意見について分析し、満足度のさらなる向上につなげられたい。												

評価項目	8	職員の接遇について															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	7	7													
	旧基準による評価点																
	令和2年度(総括)	R3.7.21	3/4	3/4	3/4												
P(プラン) 令和3年度 事業計画	5 患者サービス向上 ③職員の接遇について、研修や個別指導を行います。																
D(実施状況)	<p>患者アンケート調査による意見の集約を行っている。 提案ポストにしばしば接遇に関する苦情が寄せられており、院内委員会で検討を行った結果、指導、教育の徹底を継続し、接遇の向上を図っている。</p> <p><接遇研修の状況> (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3.4</th> <th>R2.4</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>▲ 2</td> </tr> <tr> <td>R3研修内容</td> <td colspan="3"> ・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇 </td> </tr> </tbody> </table>						R3.4	R2.4	増減	回数	1	3	▲ 2	R3研修内容	・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇		
	R3.4	R2.4	増減														
回数	1	3	▲ 2														
R3研修内容	・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇																
C(自己評価の理由)	接遇に関する指摘は、院内委員会において、情報共有を行い、院内全体の取り組みとして改善を図っている。																
A(今後の取り組み)	今後も引き続き、院内委員会による研修をはじめとし、指導、教育を継続していく。																
市のコメント	市事務担当課へ職員の接遇に関する苦情が年に10件程度寄せられている。職員への個別指導や苦情からの改善策の吸い上げにより患者サービスを向上させ、苦情の減少に努められたい。																

評価項目	9	災害時医療の体制整備について											
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会								
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	8	8									
	旧基準による評価点												
	令和2年度(総括)	R3.7.21	4/4	4/4	4/4								
P(プラン) 令和3年度 事業計画	3 政策的医療 ③災害時医療 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修、訓練を実施、災害発生時には傷病者を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。												
D(実施状況)	<table border="1"> <tr> <td>災害訓練日時</td> <td>令和3年11月3日(祝・水)</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>参加部署</td> <td>医療センター全部署</td> </tr> <tr> <td>訓練内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ(和泉市内震度6弱)を想定した患者受け入れ ・ 安否確認システム使用しての職員招集 ・ 災害マニュアルに基づいた対応 </td> </tr> </table>					災害訓練日時	令和3年11月3日(祝・水)	参加人数	63人	参加部署	医療センター全部署	訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ(和泉市内震度6弱)を想定した患者受け入れ ・ 安否確認システム使用しての職員招集 ・ 災害マニュアルに基づいた対応
災害訓練日時	令和3年11月3日(祝・水)												
参加人数	63人												
参加部署	医療センター全部署												
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ(和泉市内震度6弱)を想定した患者受け入れ ・ 安否確認システム使用しての職員招集 ・ 災害マニュアルに基づいた対応 												
C(自己評価の理由)	関係機関との連携を図り、災害時医療の体制づくりを図っている。												
A(今後の取り組み)	引き続き、府や市(保健所)と連携した災害時医療訓練を実施し、課題検討に努める。												
市のコメント	災害に備えた訓練・研修を行っている。 政策医療のひとつとして災害時医療を重視し、取り込んでおり、府や市などの関係機関とより密接、迅速に対応できるよう今後も取り組まれない。												

評価項目	10	提案ポストや患者アンケート等の意見の対応について															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和3年度(4-1月)	R4.3.29	8	8													
	旧基準による評価点																
	令和2年度(総括)	R3.7.21	3/4	3/4	3/4												
P(プラン) 令和3年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。																
D(実施状況)	<p>入院患者を対象とした簡易なアンケートを実施。提案ポストは意見を2日に1度回収し、院長が迅速に確認できるようにしている。</p> <p><提案ポスト・アンケート件数(各年度4-1月)> (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案ポスト投函件数</td> <td>126</td> <td>106</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>アンケート回収件数</td> <td>1,882</td> <td>2,404</td> <td>▲ 522</td> </tr> </tbody> </table>						R3	R2	増減	提案ポスト投函件数	126	106	20	アンケート回収件数	1,882	2,404	▲ 522
	R3	R2	増減														
提案ポスト投函件数	126	106	20														
アンケート回収件数	1,882	2,404	▲ 522														
C(自己評価の理由)	センター内で早期にアンケートの意見や提案の内容について、確認、反映し、サービス向上につなげられた。																
A(今後の取り組み)	患者の意見を真摯に受け止め、サービス向上につなげていく。引き続き、投書内容を委員会で検討し、院内に周知していきたい。																
市のコメント	投書の要望事項について、適切な進行管理、迅速な改善対応を行っている。今後も提案ポスト、患者アンケートに限らず、多様な方法で意見集約を行い、サービスの向上につなげられたい。																

総合評価 令和3年度 (4月~1月)	自己評価	82	合計評価点(82点 / 100点)
	市の評価	82	合計評価点(82点 / 100点)
	委員会の評価		

令和 4 年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書（案）

令和 3 年度は、前年度に引き続き、医療スタッフ・事務職員を増員し、積極的に研修医を受け入れ人材育成に取り組むとともに、心臓血管外科手術用医療機器等を導入し、さらなる医療機能強化を図りました。

また、地域がん診療連携拠点病院の国指定や地域医療支援病院の承認により、さらなる医療水準の向上に努めてまいります。

令和 4 年度においては、医師等スタッフの増員に努めるとともに、手術用・検査用医療機器等の整備を行い、医療体制の充実に努め、地域医療に貢献してまいります。

1 基本方針

市民の生命と健康を守る公立病院としての使命を果たすため、次に掲げる基本方針に沿って事業運営を行います。

- ① 24 時間対応の地域住民が安心できる救急医療への取り組み
- ② 患者中心の安全で質の高い医療の提供
- ③ がん医療を中心とした高度専門医療の提供
- ④ 地域住民への健康講座や介護・福祉との密接な連携による地域医療の充実
- ⑤ 災害時に機能を発揮できる病院
- ⑥ 良質な医療サービスを提供するために必要な人材の確保・育成

2 基本的な医療機能

① 外来診療科目 (33 科)

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、眼科、婦人科、耳鼻いんこう科、皮膚科、放射線科、精神科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓・透析内科、脳神経内科、緩和ケア内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、心臓血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、形成外科、消化器外科、リウマチ内科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

診察日・受付時間

診 察 日 : 月曜日～金曜日(祝日を除く)
土曜日診療の実施
年末年始休日 12/31～1/3
受付時間 : 8:00～11:30

② 病棟編成・看護基準

- ・ 稼動病床数 307 床 (ICU8 床、急性期病床 275 床、緩和ケア 24 床)
- ・ 7 対 1 看護基準

③ 診療機能の向上

- ・ 診療体制の充実を図ります。(4 月の常勤医師 120 名予定)
- ・ 国指定の地域がん診療連携拠点病院にふさわしい専門的ながん医療、地域連携協力体制、がん患者への相談支援及び情報提供を充実します。
- ・ 地域医療支援病院の医療連携活動の一環として、研修会等を実施し、高度医療機器の共同利用を行うなど地域医療の資質向上に貢献します。
- ・ 大阪市立大学医学部との連携に加え、近畿大学医学部との連携強化を図ります。
- ・ グループ病院である岸和田徳洲会病院を協力・支援病院とし、バックアップ体制を継続します。

④ 医療・介護連携の推進

- ・ 地域における医療・介護の関係機関が連携することにより、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することができるよう地域の専門職の相談窓口となり、基幹的な役割果たすことを目指していきます。

⑤ 健康増進の取り組み

- ・ 人間ドック・特定健診などの各種検診の充実を図り、市民の健康維持・疾患の早期発見に貢献します。
- ・ 医師等による医療講演会及び出前講座を行います。

⑥ 医師、看護師等の人材育成

- ・ 院内委員会による研修をはじめとし、指導・教育の充実を図ります。特に、看護師については、基礎教育に重点を置き、新たな教育プログラムを実施します。

3 政策的医療

① 救急医療

- ・ 市内の他の救急告示病院と協力しながら、市外搬送件数の減少を目指します。令和 4 年度から常勤の救急専門医の確保ができることから更なる救急体制の強化を図

り、重篤な患者の対応については、引き続き、協力・支援病院の岸和田徳洲会病院（3次救急医療機関）と連携します。

② 小児医療

- 小児医療及び学童健診に協力をします。

③ 災害時医療

- 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修・訓練を実施します。
- 災害発生時には傷病者等を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。

4 建物、設備、器具等の維持管理

建物及び設備、器具等の機能と環境を良好に維持するとともに、施設修繕や医療機器等更新については必要性、緊急性を十分に見極め、実施します。

5 患者サービス向上

- ① 提案ポストや患者アンケートによる待ち時間調査等から利用者の意見収集を行い、さらなる接客改善に努めます。
- ② ホームページ、新聞広告等、広報の内容充実を行い、市立総合医療センターの効果的なPRを継続します。
- ③ 職員の接客について、研修や個別指導を継続します。

和泉市消防本部 救急搬送件数(令和3年4月～令和4年1月)

<重症度別>

(括弧内は構成比 単位:人、%)

		死亡	重篤	重症	中等症	軽症	その他	令和3年度 合計(A)	令和2年度 合計(B)	前年同月比 (A)-(B)
市内	和泉市立総合医療センター	13	0	151	212	736	386	1,498 (21.8)	1,486 (23.8)	12 + 0.8%
	府中病院	38	0	236	439	1,231	669	2,613 (38.1)	2,374 (38.1)	239 + 10.1%
	咲花病院	0	0	12	27	39	27	105 (1.5)	142 (2.3)	▲ 37 ▲ 26.1%
	光生病院	0	0	22	12	57	52	143 (2.1)	114 (1.8)	29 + 25.4%
	大阪母子医療センター	1	0	5	24	32	35	97 (1.4)	53 (0.8)	44 + 83.0%
	その他	0	0	1	6	5	7	19 (0.3)	17 (0.3)	2 + 11.8%
	市内計	52	0	427	720	2,100	1,176	4,475 (65.2)	4,186 (67.1)	289 + 6.9%
市外	岸和田徳洲会病院	5	0	76	126	311	230	748 (10.9)	622 (10.0)	126 + 20.3%
	馬場記念病院	0	0	56	46	109	99	310 (4.5)	267 (4.3)	43 + 16.1%
	ベルランド病院	1	0	34	45	83	74	237 (3.5)	223 (3.6)	14 + 6.3%
	近畿大学病院	0	0	23	43	49	46	161 (2.3)	105 (1.7)	56 + 53.3%
	堺市立総合医療センター	3	0	12	34	64	44	157 (29.9)	179 (39.2)	▲ 22 ▲ 12.3%
	岸和田市民病院	1	0	17	16	65	53	152 (2.2)	99 (1.6)	53 + 53.5%
	泉大津市立病院	0	0	4	13	37	15	69 (1.0)	46 (0.7)	23 + 50.0%
	高石藤井病院	0	0	1	11	15	3	30 (0.4)	53 (0.8)	▲ 23 ▲ 43.4%
	その他	2	0	98	118	155	152	525 (7.6)	457 (7.3)	68 + 14.9%
	市外計	12	0	321	452	888	716	2,389 (34.8)	2,051 (32.9)	338 + 16.5%
合計		64	0	748	1,172	2,988	1,892	6,864 (100.0)	6,237 (100.0)	627 + 10.1%

参考資料 2

診療科別 紹介患者数(4月～1月)

(単位:人)

診療科名	令和3年度	令和2年度	増減	増減率 (%)
消化器内科	1,613	1,245	368	29.6
呼吸器内科	1,216	1,203	13	1.1
歯科口腔外科	1,019	902	117	13.0
放射線科	1,017	960	57	5.9
整形外科	806	719	87	12.1
循環器内科	677	661	16	2.4
耳鼻いんこう科	672	481	191	39.7
小児科	652	395	257	65.1
総合内科	593	286	307	107.3
泌尿器科	589	525	64	12.2
肝胆膵内科	466	394	72	18.3
内分泌・糖尿病内科	438	339	99	29.2
リウマチ・膠原病内科	421	464	▲ 43	▲ 9.3
皮膚科	418	373	45	12.1
脳神経内科	410	377	33	8.8
脳神経外科	370	314	56	17.8
外科	366	255	111	43.5
婦人科	335	223	112	50.2
腫瘍内科	316	234	82	35.0
形成外科	269	223	46	20.6
血液内科	231	189	42	22.2
呼吸器外科	137	97	40	41.2
腎臓・透析内科	123	89	34	38.2
乳腺外科	120	81	39	48.1
眼科	80	88	▲ 8	▲ 9.1
救急科	71	56	15	26.8
精神科	45	28	17	60.7
心臓血管外科	28	22	6	27.3
合計	13,498	11,223	2,275	20.3

※再診患者を含む。

参考資料 3

診療科別 逆紹介患者数(4月～1月)

(単位:人)

診療科名	令和3年度	令和2年度	増減	増減率 (%)
歯科口腔外科	1,215	1,010	205	20.3
消化器内科	1,150	851	299	35.1
整形外科	888	940	▲ 52	▲ 5.5
放射線科	872	844	28	3.3
循環器内科	837	696	141	20.3
呼吸器外科	746	490	256	52.2
呼吸器内科	717	708	9	1.3
総合内科	492	192	300	156.3
腫瘍内科	445	360	85	23.6
肝胆膵内科	400	421	▲ 21	▲ 5.0
皮膚科	312	213	99	46.5
内分泌・糖尿病内科	310	252	58	23.0
脳神経内科	292	268	24	9.0
外科	285	330	▲ 45	▲ 13.6
耳鼻いんこう科	284	192	92	47.9
脳神経外科	275	392	▲ 117	▲ 29.8
泌尿器科	268	266	2	0.8
小児科	197	166	31	18.7
救急科	161	133	28	21.1
血液内科	141	98	43	43.9
リウマチ・膠原病内科	112	111	1	0.9
眼科	97	115	▲ 18	▲ 15.7
婦人科	73	53	20	37.7
腎臓・透析内科	62	44	18	40.9
乳腺外科	60	46	14	30.4
形成外科	36	47	▲ 11	▲ 23.4
精神科	28	18	10	55.6
心臓血管外科	5	7	▲ 2	▲ 28.6
合 計	10,760	9,263	1,497	16.2

診療科別単価 前年度比較(4月～1月)

(常勤医師配属診療科のみ)

入院	令和3年度	令和2年度
外科	96,996円	83,236円
血液内科	89,516円	82,296円
脳神経外科	86,418円	71,913円
循環器内科	84,888円	75,477円
整形外科	74,991円	69,314円
泌尿器科	73,176円	56,006円
形成外科	72,260円	57,888円
婦人科	72,224円	67,367円
呼吸器内科	65,184円	56,125円
耳鼻いんこう科	64,478円	50,286円
消化器内科	62,287円	54,802円
小児科	60,162円	54,260円
歯科口腔外科	57,189円	51,144円
脳神経内科	56,555円	49,705円
腫瘍内科	55,637円	50,500円
皮膚科	48,534円	43,531円
肝胆膵内科	48,352円	46,189円
リウマチ・膠原病内科	47,945円	47,681円
内分泌・糖尿病内科	46,974円	39,978円
全診療科平均	71,917円	71,339円

外来	令和3年度	令和2年度
脳神経内科	95,986円	76,961円
血液内科	72,420円	70,013円
腫瘍内科	69,817円	63,095円
リウマチ・膠原病内科	29,379円	28,348円
放射線科	27,906円	44,504円
外科	26,760円	18,553円
呼吸器内科	25,531円	22,477円
消化器内科	23,983円	14,992円
肝胆膵内科	20,633円	10,341円
泌尿器科	16,097円	15,274円
小児科	15,449円	11,502円
内分泌・糖尿病内科	14,335円	11,893円
心臓血管外科	12,785円	12,905円
婦人科	11,651円	11,938円
循環器内科	11,144円	9,775円
脳神経外科	10,534円	11,216円
整形外科	8,963円	8,060円
耳鼻いんこう科	8,849円	6,733円
腎臓・透析内科	8,726円	8,463円
形成外科	7,964円	7,030円
精神科	7,212円	8,664円
歯科口腔外科	7,210円	5,897円
眼科	4,875円	4,484円
皮膚科	4,858円	3,983円
全診療科平均	22,026円	21,223円